

1700年ほど前の竪穴住居跡と土器たち

今から1700年ほど前の竪穴住居には、5号竪穴住居跡のような『カマド』がついていなかったんだ。そのかわり、竪穴住居の床のまん中近くのところで、直接火をおこしていたようだよ。家の中でたき火をしてたんだね。ビックリ！

この時期の土器たちを見てみると、どれもていねいに作られているのがわかるんだ。『鉢』や『器台』や『壺』などは、表面がツルツルになっているよ。赤い色が塗られているものもあるんだ。『甕』の底にロケットみたいな台がついている『台付甕』もあるね。それに、『壺』のくびの部分に丸ポチや段、キサミ目などの『かざり』をつけたものもあるみたいだよ！



1700年ほど前の竪穴住居跡



1700年ほど前の土器たち

1600年ほど前の竪穴住居跡と土器たち

今から1600年ほど前の竪穴住居には、『カマド』がつくようになるんだ。『カマド』は料理をするのに使うよね。ということは、1700年ほど前からおよそ100年の間に、『お台所』の大変化が起こったってことになるんじゃないかな！？

この時期の土器たちを見てみると、前の時期と比べると作りがちよつと荒っぽいかな？丸い胴体に短いくびがついた『壺』や、いろいろな形の『坏』、お皿の下に台がついた『高坏』などが目を引くよ。こうした小形の土器たちは、オレンジ色をしていることが多いんだ。これは、前の時期の土器みたいに赤い色を塗ったんじゃなく、土器の材料の粘土そのものがオレンジ色になっているんだ！でも、『甕』や『鉢』などはオレンジ色になっていないことが多いんだって。土器の種類によって粘土や焼き方を変えていたのかな？



1600年ほど前の竪穴住居跡

土器がいっぱい！



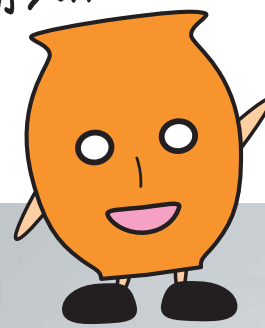
1600年ほど前の土器たち

蔵王町文化財展⑧

立目場遺跡

土の中から こんにちは！

今回は、今から1600年ほどムカシの遺跡を探検だ！！



ボクにそっくりな土器もあるね！！

こんにちは！ボク、どきたん！！

ボクは、蔵王町のムカシたんけんが大好きなんだ。遺跡をたんけんすると、大ムカシの人たちの暮らしぶりや、そのころの世の中の様子がわかるんだ。ワクワク！ドキドキ！楽しいよ！！みんな、ボクといっしょにムカシたんけんしてみようよ！

今回たんけんするのは『立目場遺跡』だよ。蔵王町と村田町のさかい目ちかくにある、今から1600～1700年前のムラのあとなんだ。その頃はちょうど『古墳時代』という時代なんだって！古墳時代って、どんな時代だったのかな？人々の暮らしぶりはどんなようすだったのかな？『立目場遺跡』では、どんな発見があったのかな？

みんなでムカシたんけんだ！！ れっつご～！！

立目場遺跡って、どんな遺跡？

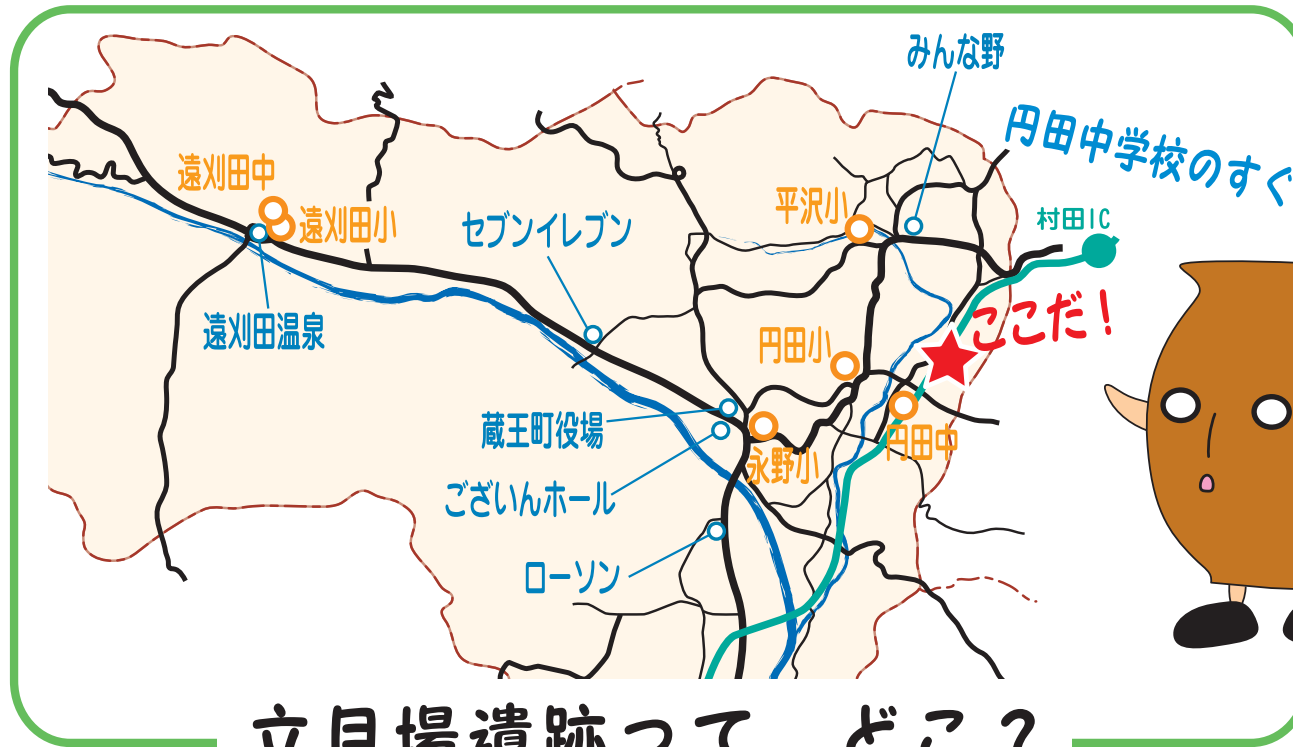
立目場遺跡の発掘調査では、古墳時代の竪穴住居跡が6軒見つかったんだって。竪穴住居跡は、3軒が1700年前のもの、3軒が1600年前のものだったんだって。古いのと新しいのとでは、およそ100年の年代差があったんだね。年代によって、住居の作りや使っていた土器の形などがちがっていたんだって！！

古墳時代は今から1,750年ほど前から1,350年ほど前まで、およそ400年間続いたんだ。『大和政権』^{やまとせいけん}というクニが誕生して、日本列島の広い範囲がその勢力に収まった時代で、各地のリーダー（豪族）^{ごうぞく}たちが『古墳』と呼ばれる大きなお墓を作っていたので、古墳時代という名前がつけられたんだよ。

古墳時代の人々は、地面に四角い穴を掘って、その上に屋根をかけた『竪穴住居』で暮らしていたんだ。ムラ全体で力を合わせて、田んぼでお米を作っていたんだよ。



竪穴住居での暮らし（想像図）



立目場遺跡って、どこ？

立目場遺跡の発掘調査では、たて7.8m、よこ7.6mという、とっても大きな竪穴住居跡（5号竪穴住居跡）が見つかったんだって！この住居跡は、今から1600年ほどムカシのもので、石で組み立てたカマドや、屋根を支える柱をたてた穴、土器などを置いておくためのくぼみ穴（貯蔵穴）が備わっていたんだって！土器も、20個以上が発見されたそうだよ！！これほど大きな竪穴住居跡はめずらしいんだって。すごいね～！！



5号竪穴住居跡全景

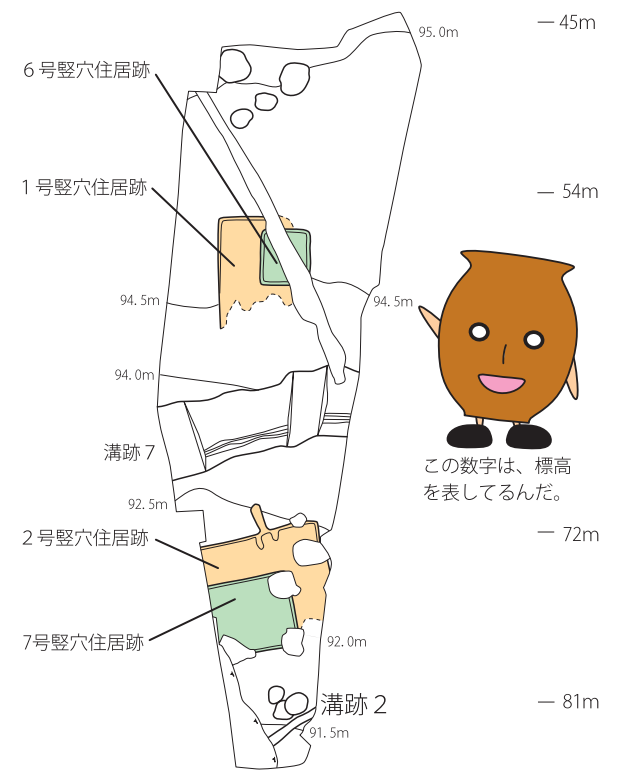
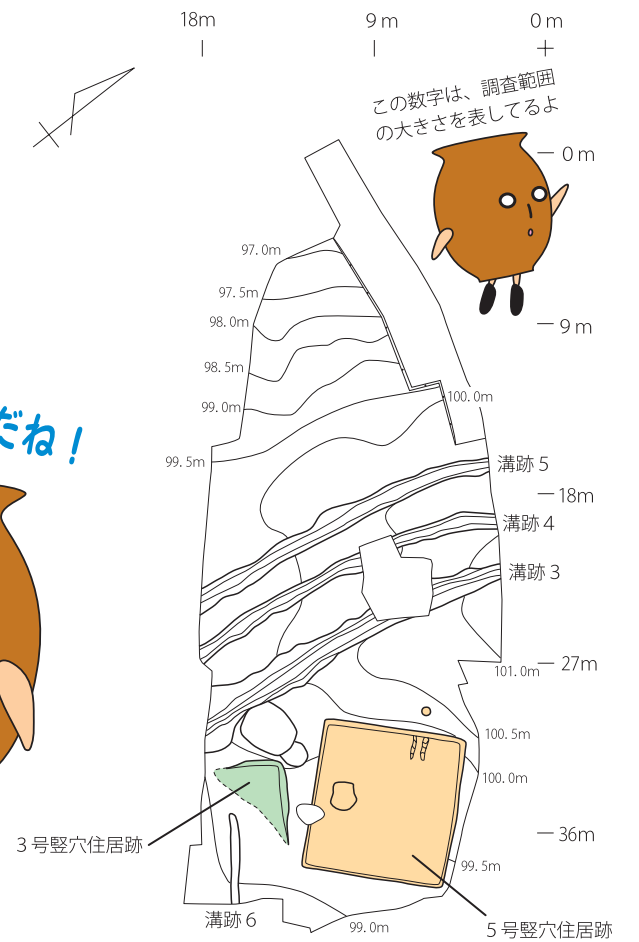


石組みのカマド



床に転がる土器たち

大きな竪穴住居跡発見！！



※4号竪穴住居跡は欠番です
※溝跡1は欠番です

はつかつちようさ けつか
発掘調査の結果
ちようさはんい ぜんたいず
(調査範囲の全体図)